

九州

◇福岡支局◇
福岡市博多区中
福岡市博多区3-10
福岡市博多区消防会館
福岡市博多区消防会館
092(271)2708
FAX092(271)2878

FHSネットワーク(本部・熊本市、内海

久俊代表)は6月21日、熊本市のANAクラウンプラザホテル熊本ニースカイにパートナー店の経営者ら57人を集め第4回全国大会を開いた。熊本地震を機に認知度が高まる温水床暖房「ユカカラ暖房」の普及拡大に向け結束を誓った。

温水床暖普及へ結束

FHSネットワーク、全国大会

FHSネットワークは温水床暖房施工・販売の全国展開を目指すパートナー組織。大会では取り組み報告や実践事例発表など情報交換した。

内海代表は「昭和はモノの時代、平成はサービスの時代だった。令和の時代には創造的なサービスをもっとお客さまに勧められる。モノではなくコトを体験できる空間を作る。1万人に1人の認知が100人、1千人になれば急激に拡散する。令和を飛躍の時代にしよう」と訴えた。



彌吉悠志氏



内海久俊代表



大道薫氏



佐藤央氏

悠志社長は、5月に社名変更し旧事務所を体験型ショールームにリニューアルした。ショールームがないと「ショールームがないとカタログだけの説明になる。ショールームを持つと顧客を呼び込んで実機で提案でき、商売に自信がつく。全国のFHSパートナー店がショールームを作れば普及拡大に弾みがつく」と語った。

策、省エネ、災害に対する安心の3点を備えているのが温水床暖房。認知が広がるほど商売がやりやすくなる」と強調。温水床暖房メーカー、エコ

常設や保安事情説明

大分県協メディア懇談6回目

大分県LPガス協会(山田耕司会長)は6月11日、大分市のホテル日航大分オアシスタワーで県内の報道機関代表者との懇談会「写真」を開いた。LPガスの特性をメディアに正しく理解し、広く周知してもらうため

毎年開いており、今回で6回目。協会から山田会長をはじめ執行部が出席。地元メディアから小川和男・NHK大分放送局放送部長・清田透・大分合同新聞社取締役、松浦芳弘・テレビ大分制作部長、藤

村雄樹・大分放送総務部担当部長、草場淳・大分朝日放送取締役報道制作担当、茅野健治・エフエム大分執行役員営業部長が出席した。山田会長は「公立中学校への空調整備事業を踏まえ、当協会も各自治

体へ積極的に働きかけている。大分市では小中学校75校のうち27校にLPガスGHPが採用された。また、避難場所に指定された昭和電工武道スポーツセンターや豊後企



面大分駄原球技場には災害対応バルクが採用されている。今後は避難場所にもなる学校体育館への災害対応バルクやGHPの設置を強く働きかけたい。LPガスを安心して使っていたことがわれわれの最大の責務だが、業務用で消費者起因の事故が後を絶たない。立ち消え安全装置付きガスコンロやメーター連動型警報器など、LPガスを安全に使用してもらうための機器設置の呼びかけを各社にお願いする。このような機会を通じ、LPガスの良さと怖さ両方を認識したうえで報道してい

た。懇談会では、LPガスの良さと怖さ両方を認識したうえで報道してい



宮崎県協 県警と防犯協定

宮崎県LPガス協会(森勝人会長)は6月14日、宮崎県警察本部と「犯罪が起きにくい社会づくりに関する協定」を締結した。県協会は昨年度までに県内13カ所すべてで協定を締結した。県協会はLPガス事業の業態を生かし、地域貢献の一環として警察との協定締結を計画。▽各種防犯情報などの相互発信▽事件事故に関する各種手配と情報提供▽子供・女性の見守り活動▽防災・減災に資する活動▽その他を盛り込んだ。宮崎市の県警本部で行った締結式には県協会の代表者ら4人が出席した。

の他、協会の代表者ら4人が出席した。